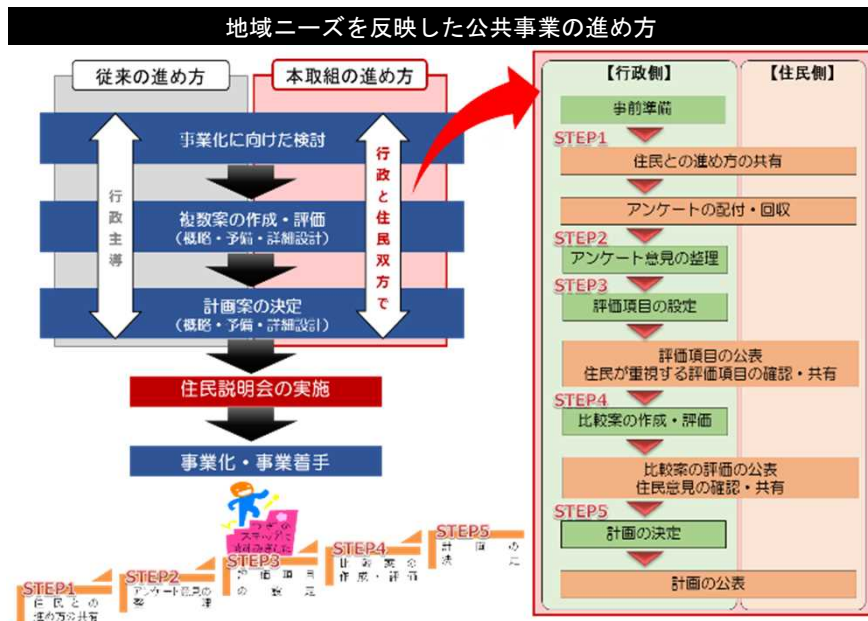


コラム①. 社会資本整備の取り組み方を変える

① 「地域ニーズを反映した公共事業」の推進

「より良い計画」を策定するためには、計画の決定プロセスの透明性の向上を図り、多様な地域ニーズを的確に反映する必要があります。そのため、計画案を県が決定する前にアンケートなどにより、地域ニーズを把握し、計画に反映させる「地域ニーズを反映した公共事業」に取り組みます。



令和3年度は交通安全対策事業の1事業と砂防事業の1事業で「地域ニーズを反映した公共事業」に取り組みました。

令和4年度については、バイパス事業の1事業、交通安全対策事業の5事業および砂防事業の2事業で取り組む予定です。

新羽（向屋2）地区 上野村 急傾斜地崩壊対策事業

令和3年度に新羽（向屋2）地区（上野村）で実施した「地域ニーズを反映した公共事業」の事例です。

本箇所は保全対象の1つに地域防災計画に記載のある避難所があることから、急傾斜地崩壊対策事業を実施するにあたり、周辺住民にアンケートを配布し、意見をいただくことで、地域として求めるニーズを把握し、計画に反映するとともに、新型コロナウイルス感染防止にも留意しつつ、各検討ステップごとに住民との合意形成を図りながら、急傾斜地崩壊対策事業計画を策定しました。



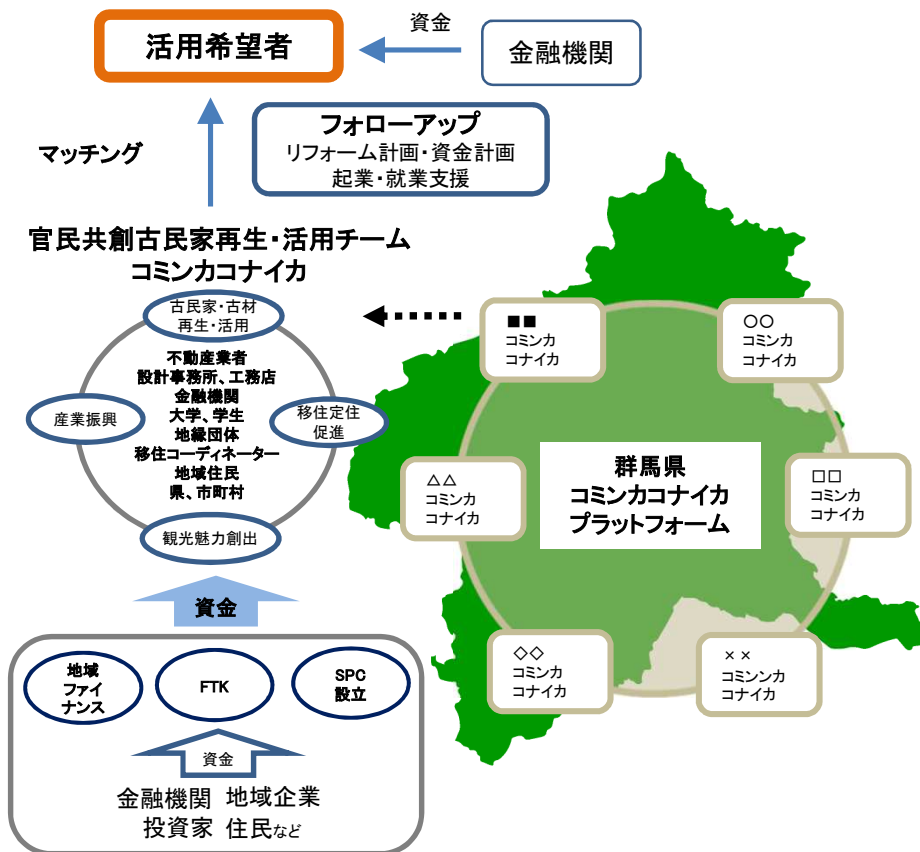
②民間活力導入の推進

多様化する県民ニーズに対応するため、民間の力を積極的に活用することで、県民サービスのより一層の向上に努めます。

(1)官民共創による古民家再生・活用の推進

県内各地に官民共創の古民家再生・活用チーム「コミンカコナイカ」を組織し、「コミンカコナイカ」の活動により、群馬県の良質な地域資源である古民家を活用した持続可能な住宅産業の実現や、官民共創コミュニティの醸成を図ります。

コミンカコナイカによる古民家再生・活用推進のイメージ



古民家再生事例



古民家再生事例



古民家活用事例



③ Society5.0の実現に向けたDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

(1) 県土整備プランDXアクションの推進

群馬県では、2023年までに最先端のデジタル県になることを目指しており、県土整備部においてもDXを推進しています。限られた人員や財源で「ぐんま・県土整備プラン2020」を着実かつ計画的に推進するため、県土整備分野のDXに係る方針や施策、工程などをとりまとめた「県土整備プランDXアクション」を令和3年11月に策定しました。

今後、県土整備プランDXアクションに基づき、県土整備分野のDXを推進するとともに、DX推進の「3つの観点」と「8つのアクション」により、課題解決に向けた新たなDXの取組の立案・推進に努めます。

県土整備プランDXアクション

限られた人員や財源で「ぐんま・県土整備プラン2020」を着実かつ計画的に推進するために

県土整備プランDXアクション

失敗を恐れず、DXへ挑戦する風土づくりを目指して

詳しくは
こちら

R3年11月
群馬県県土整備部

【3つの観点】

- 県民**: 県民の暮らしの安全性・利便性の向上
誰もが安全で快適に暮らせる社会の実現
- 県政**: 行政職員の業務の効率化・高度化
- 県産**: 建設産業の労働環境の改善・生産性の向上
地域の安全・安心の守り手である建設産業の持続的な発展

【8つのアクション】

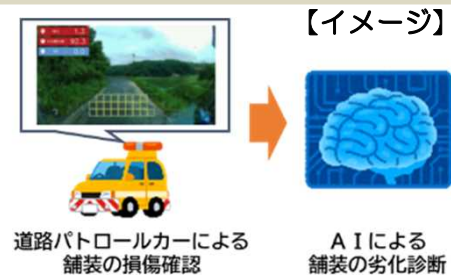
1. わかりやすい情報の発信
2. 点検・調査・監査・維持管理業務等の自動化・省力化・高度化
3. 建設現場における作業の自動化・高度化・支援
4. データの蓄積・利活用
5. 非接触・リモート型への転換
6. 手続きのデジタル化・オンライン化
7. 誰もが移動しやすい環境の整備
8. 人材・産業の育成・支援

主な事例

① 車両積載カメラとAIを活用した舗装の劣化状況の評価

D (デジタルにより)
道路パトロール車にドライブレコーダー等を搭載し、路面状況の撮影を行うとともに、撮影した画像等をAIにより診断

X (どう変わるか)
低コストで舗装の劣化状況の早期把握・対策が可能に



【スケジュール】

2021年度				2022年度				2023年度				2024年度				2025年度			
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
活用技術検討				試行準備				試行・効果検証				本格運用							

④わかりやすい情報発信による県土整備行政の見える化

県民との信頼関係の構築や社会資本整備に対する理解促進を図るため、計画の策定から事業の実施、完成後の評価・検証に至るまでの、社会資本整備の全てのプロセスにおいて「見える化」を積極的に推進します。

(1)ストック効果の見える化

「ストック効果事例」の作成により、社会資本の必要性や重要性をわかりやすく県民に「見える化」します。

○ストック効果とは

社会資本が整備・蓄積されることにより機能することで、継続的かつ中長期にわたり、地域経済の発展や県民生活の向上をもたらす効果のこと。

耐震性の向上や水害リスクの低減による「安全性の向上効果」や、生活環境の改善やアメニティの向上による「生活の質の向上効果」のほか、移動時間短縮等による「生産性向上効果」があります。

(2)事業の目的・進捗状況の見える化

「よくわかる公共事業」の作成により、主要事業の目的や完成予定年度、進捗状況等をわかりやすく県民に「見える化」します。

より多くの県民に周知し、さらなる社会資本整備に関する理解促進を図るため、スマートフォン等で閲覧可能な「よくわかる公共事業」のHPにリンクする「QRコード」を積極的に活用します。

工事看板貼付けイメージ (QRコード)

以下のQRコードから、本工事の目的や進捗状況等のわかりやすい情報がご覧いただけます。

リンク先：群馬県HP「よくわかる公共事業」

ストック効果事例 (上信自動車道)

吾妻地域の農業活性化へ！
～朝採れ新鮮高原キャベツが、その日のうちに首都圏の食卓へ～

【道路事業】 上信自動車道

【効果1】 吾妻地域の農業活性化へ！
～朝採れ新鮮高原キャベツが、その日のうちに首都圏の食卓へ～

【効果2】 上信自動車道による効果
上信自動車道は、吾妻地域の農業活性化に大きく貢献しています。

【効果3】 上信自動車道による効果
上信自動車道は、吾妻地域の農業活性化に大きく貢献しています。

よくわかる公共事業 (寺沢川)

寺沢川 等沢川 設備3 両岸レクリエーションNo.1の実現
設備3 両岸インフラの整備 (中央レクリエーション)

事業概要・完成予定年度

事業の目的

事業後は何が良くなるか

事業の進捗状況 (13年度以降)

(3)わかりやすい広報の展開

現場見学会やインフラツーリズムの実施、建設産業の魅力を伝える動画の配信など、建設産業や土木施設の魅力を広く県民に伝えることで、社会資本整備に対する理解促進と建設技術者を志す人材の拡大につなげます。

BIRD'S-EYE シリーズ

ぐんまの偉大な土木遺産
～BIRD'S EYE～

@!(アット)驚く 群馬のヒミツ

ドボクリップ